

最古の歯科医学校の歯学部長



わが畏友、クリスチャン・ストーラー。

私たち夫妻は昭和58年9月、小倉英夫夫妻、小林義典教授とともに、姉妹校の調印にミシガン大学を訪れた。アンナバーに着いた時から、世話をしてくれたのが若いC. ストーラー夫妻だった。

Dickに厳命されたらしく、夫妻は、初めての日本人を心からもてなしてくれた。彼らは、スイスのベルン大学歯学部と同級生で、口喧嘩しながら仲のよいおしどり夫婦ぶりをみせていた。クリスチャンはシャイで、おだやかな、優しい人柄に、シャープな頭脳を秘めていた。

それから23年後の平成18年、私は、本学創立100周年記念式典に、来賓としてストーラーを招待した。当時、彼はメリーランド大学の歯学部長を務めていた。同大学歯学部の前身は、世界で最古の歯科医育機関であるボルチモア歯科医学校である。奇しくも、本学創立者の中原市五郎先生は、1916（大正5）年にメリーランド大学から名誉博士号をうけた。

メリーランドに着任以来5年余、ストーラーは寄付金をあつめて臨床実習棟を建て、斬新な教育シス

テムを導入した。その大胆な改革は内外から注目され、彼の抜群の指導力は高く評価されていた。

100周年記念式典を終えて、小倉教授の采配により、私たちは姉妹校の調印をした。本学16校目の国際姉妹校であった。

それから7年後の平成25年、本学創立107周年記念式典において、ストーラー歯学部長に本学名誉博士の称号を授与したいと伝えた。彼と夫人は、忙しいなか喜んで駆けつけてくれた。

新潟生命歯学部での特別講演のあと、新潟駅頭での別れ際、私は、彼の耳元に小倉教授がCであることを告げた。彼が見えないことを気にしていたのだろう、クリスチャンは蒼白になって狼狽し、両肩をおとして声をひそめて咽び泣いた。

帰国後、慌しくクリスチャンからEメールが入った。ニューヨークのコロンビア大学の歯学部長に選任されたという。同大学の副学長、総合研究所長を兼ねるという。アメリカのトップ校である同大学は、もっとも相応しい人物に白羽の矢をたてたのだ。

（写真：名誉博士号をもつ Dr. ストーラーと夫人）